

<http://www.shimamoto-ele02.ed.jp>

二小学校だより

～自他を大切にし、
自律的にものごとを考え、
行動できる子ども～



令和4年1月11日(火)
島本町立第二小学校
島本町東大寺四丁目167番地
校長 辻本 堅二
TEL 961-1195
FAX 961-1196

あけましておめでとうございます

～「情報活用能力」を考える～

みなさまにおかれましては、新しい年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。本年も昨年に引き続き、本校の教育活動へご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今や単なる知識であればインターネットで検索することができます。しかし、これからの時代に求められるのは、必要な情報を得るために、インターネット等を使って自分で探し出す力や、多様な情報や習得した知識を活用して自分の意見を形成し、表現する力です。しかも、自分だけで行うのではなく、考えや文化が異なる多様な人たちと協力しながら、進めていく力。そして、先生に課題を与えられるのではなく、自分で課題を発見し、解決に取組み、未来を切りひらいていく力などです。



こういった力は「何を知っているか」を重視するのではなく、「何ができるか」を重視しています。そして、本校でも子どもたちがタブレット(PC)やインターネットを使う機会が飛躍的に増えています。そうなった時に子どもたちに必要になるのは、「情報活用能力」です。たとえば、タイピングがうまくできなければ、せっかく1人1台の端末があっても、検索するにも一苦労ですし、プレゼンを作るにも手間取り、せっかくいい意見やアイデアが浮かんでいても表現できません。まずは、PCやインターネット等の基本的な操作スキルを習得する必要があります。加えて、求める情報をネット等から探し出し、情報の真偽を確かめながら読み解き、さまざまな情報を整理・分析して総合的に判断し、自分の意見を形成していくような力も必要です。操作スキルと情報を上手に扱う力の両方が必要です。



こういった情報活用能力は、これからの子どもたちが必ず持つべき力です。学習指導要領でも、「学習の基盤となる資質・能力」だと位置づけられています。情報活用能力を身につけていけば、上手にPCやインターネットを使って情報を集め、意見をまとめて表現できます。友だちや校外の人たちとインターネットでつながって学び合い、課題解決に取り組めます。逆に情報活用能力が身に付いていなければ、タイピングや操作に時間がかかり、単元のねらいにたどりつく前に授業が終わってしまいます。

子どもたちに日常的に使わせていけば、情報活用能力は身につけていきます。ただし、最低限のルール(タブレット使用開始時に子どもたちには説明をしています。また、同じものを1学期末に実施した「オンライン接続テスト」の際に配布いたしました)の徹底は必要ですし、今後、様々な課題も生じてくるかもしれません。その際は、こども、お家やホーム、学校で課題解決を図れたらと考えています。逆に言えば、子どもが日常的に使える環境がなければ、子どもたちに情報活用能力はあまり身につかないのではないかと考えています。

(校長 辻本堅二)